

# 屋 根

富良野GROUP公演2016冬

学童疎開進駐

作・演出

倉本

聰

倉本聰が描く  
日本の家族史

平成28年2月2日(火) 19時開演(開場は開演の30分前)

東京エレクトロンホール宮城 仙台市青葉区国分町三丁目3番7号

お問い合わせ 東京エレクトロンホール宮城 022-225-8641

ミヤギテレビ事業部 022-215-7700 (平日10:00~18:00)

【主催】ミヤギテレビ、河北新報社、公益財団法人北海道演劇財団

【共催】公益財団法人宮城県文化振興財団

【後援】株式会社サンメディカル、宮城県 【協力】(株)近畿日本ツーリスト北海道

【企画・制作】フラノ・クリエイティブ・シンジケート (F.C.S.)



平成27年度文化庁  
劇場・音楽堂等  
活性化事業



富良野に初めて移り住んだ頃、僕は連日のように原野をさまよひ、そここゝに残された廃屋を見て歩くのを日課にしていた。その殆んどはとっくに朽ち果てた、無残な過去の記憶だったのだが、その屋根を剥がし中を覗くと、そこには離農した家族の当夜の情景が必ずと云っていゝ程浮かび上り、僕の心を強烈に射て来た。

貧困の中で生き、日本の農を支え、夫々が小さな倅せを包み、時代から捨てられたそれらの廃屋。

そうした廃屋の情景を元に、「北の国から」を僕は発想し、「悲別」を書きそしてこの「屋根」を創った。廃屋は僕の富良野に於けるいわば創作の原点だった。

今朽ち果てた原野に眠る、埋もれた家族のささやかな喜怒哀楽。

戦前・戦中・戦後そして今。時代に流されたそうした人々の暮らしの歴史を、屋根だけがじっと見つめて来たにちがいない。屋根は一体何を想ったか。

この芝居は朽ち果てた屋根を通して語る一つの鎮魂の詩である。



#### 倉本 聰

1935年、東京都出身。脚本家・劇作家・演出家。

東京大学文学部美学科卒業後、1959年ニッポン放送入社。

1963年に退社後、脚本家として独立。1977年、富良野に移住。

1984年から役者やシナリオライターを養成する私塾「富良野塾」を主宰。

代表作に「北の国から」「前略おふくろ様」「昨日、悲別で」「ライスカレー」

「優しい時間」「風のガーデン」など多数。

作・演出 倉本 聰 音楽 倉田 信雄

出演 加藤 久雅 熊耳 慶 森上 千絵 納谷 真大 水津 聡 久保 隆徳 前 有佳 有門 正太郎  
東 誠一郎 久保 明子 杉吉 結 松本 りき 栗栖 綾濃 富 由美子 大山 茂樹 末広 透  
金井 修 長谷川 奈緒美 町屋 圭祐 芳野 史明 黨 清信 三池 優 村田 純 松本 ふみか  
竹原 圭一 能登屋 駿介 三須 杏奈 他

平成28年 2月2日(火) 19時開演 (開場は開演の30分前)  
東京エレクトロンホール宮城 仙台市青葉区国分町三丁目3番7号

【2月1日(月) 18:30~劇団員によるワークショップ開催】

■前売り開始日 一般 平成27年11月28日(土)

**料 金** S席 4,800円 A席 4,500円  
全席指定(税込) 3階B席<学生割引席>1,000円 (高校生以下に限る)

■前売りチケット取り扱い

- 藤崎 ● 仙台三越 ● エスパル ● チケットぴあ (Pコード: 448-098) ● ローソンチケット (Lコード: 25194)
- セブンチケット (セブン・イレブン店頭) ● イープラス <http://eplus.jp/> ● 東京エレクトロンホール宮城
- 河北チケットセンター ● ミヤギテレビ事業部

■お問い合わせ 東京エレクトロンホール宮城 022-225-8641  
ミヤギテレビ事業部 022-215-7700 (平日 10:00~18:00)

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

【主催】ミヤギテレビ、河北新報社、公益財団法人北海道演劇財団 【共催】公益財団法人宮城県文化振興財団  
【後援】株式会社サンメディカル、宮城県 【協力】(株)近畿日本ツーリスト北海道  
【企画・制作】フラノ・クリエイティブ・シンジケート (F.C.S.)